

よんでネット*

2025

冬号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



あさいち

え＝大石可久也 かたり＝輪島・朝市の人びと

「こうてくだー。あかがれい いらんけ。こもちやぞ。」

「まけとくさけ こうてくだし。かおり まったけ、あじ しめじ。
しめじは いらんけー。」

本を開くと、人びとの、商いの声が聞こえてきます。
潮の香りと土の匂いを感じられます。

福音館書店

【E・絵本のコーナー】

石川県“輪島朝市”の活気ある風景を描いた1980年刊行の絵本です。能登半島地震(2024年)で大きな被害を受けた被災地復興の願いを込め、復刊されました。

バーバラ・レオニ・ピカード 7つの国のおとぎ話

バーバラ・レオニ・ピカード 作 安藤紀子 訳

庭作りの名人ディコンのもとに、ある日おそろしい魔術師がやってきました。彼は求婚している王女のために、館の庭に美しい花を咲かせようと、ディコンを庭師に選んだのです。ディコンの世話で草花は元気に育ち、庭はだんだん美しくなっていました。ところがある夜、庭が誰かに荒らされて…。

(「^{まじわし}魔術師の庭」より)

世界のどこかにあるかもしれない？ 7つの国のお話です。



洋々社

【933ピ°】



岩波書店 [487]

野生生物は「やさしさ」だけで守れるか？

— 命と向きあう現場から

朝日新聞取材チーム

(岩波ジュニア新書 988)

野生の動物はかわいいし、生きものの命は等しく尊い。でもその動物が農作物を荒らしたり、人に危害を及ぼすようになれば「駆除」という選択も必要になる。多様な生物がいる豊かな自然環境を維持するため、悩み苦しみながらも野生生物の命と向き合い、活動している人達がいる。その人達の思いを知り、「共生」のあり方を考えてみよう。

あしたの幸福

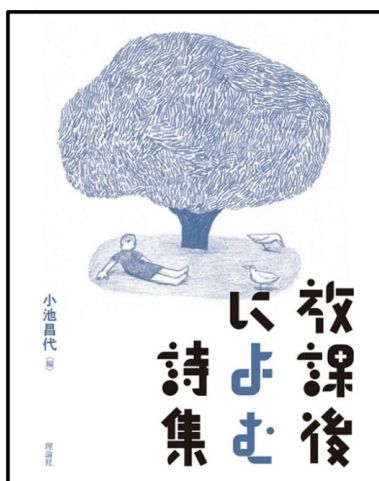
いとうみく

松倉香子・絵

あまね
雨音は中学二年生。赤ん坊の時、母が家を出て父と二人暮らしした。その父が事故で死んだ。ひとりぼっちになった雨音だが、父と暮らしした家から離れたい。そこへ母から連絡がきた。「お困りでしたら、わたしと住みますか？」思わぬかたちで始まった母との同居生活。ところが父の婚約者の帆波さんと一緒に住みたいと言いだし…。



理論社 [9131]



理論社
[908コ]

放課後によむ詩集

小池昌代<編>

近所の美容室で / ばっさり髪を切った / はじめての
ショートカット / (中略) とりわけ / この髪型について /
声をかけてくるひとはいなくて / 先生にからかわれたくらい。 /
(後略) (「春分の日」三角みづ紀 より)

小池昌代さんのコメントによると、「髪型の変更は本人にとって、実は自己革命みたいな大きな事件」なのだとか。31の詩をまとめたアンソロジー。